

特集

あらためて
How to ロールプレイ！

ロールプレイの可能性と注意点 古見文一
医療教育におけるロールプレイの意義と現状 岡崎研太郎
ロールプレイをやって、見直そう！(Web 連動企画)

高塚由香里／有馬葉子／中野誠子／蓮行／中谷和代／F ジャパン

[座談会] ロールをプレイしてみて

気づいたこととこれから 屋宜譜美子／高塚由香里／
有馬葉子／中野誠子／蓮行／中谷和代／F ジャパン

演劇から学べるさまざまなこと

ロールプレイを入り口として 蓮行

[特別記事]

[座談会] 中西睦子先生の遺したもの 林千冬／松澤和正／鳥原真紀子

[特別寄稿]

充実した「学校だより」で学校をアピール 福田明美ほか

[新連載]

看護基礎教育・看護師養成の諸論点を検証する・1 松原定雄

[連載]

- アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・7 森山ますみ
- 授業研究で変わる！授業研究で変える！・10(最終回)
吉崎静夫／蔵谷範子

編集後記

●特別記事『学問的な誠実さを習慣づける教育を』は、もともと沼崎一郎先生が、学生に向けて書いたものです。ぜひ読者の皆さんにも読んでいただきたいと思います。書き直しをお願いしました。文中にある「正直」「信頼」「公正」「尊重」「責任」という5つの学問的誠実さは、研究者や教育者だけでなく、人として誰もが常に心がけ身につける努力をし続けなくてはならないものだと思います。人はどうしても「易きに流れ」てしまいがち。だからこそ、継続的な自覚が必要なのです。

●この号が発行される頃にはどうなっているかわかりませんが、8月初旬現在耳にするニュースには、先の5つの誠実さが欠けているものばかりが溢れかえっています。この状況を生んだのは、他ならぬわれわれ自身であることを忘れず、誠実の回復に向け努力し、対処し続けていきたいと思っています。……大野

●将棋が、というより、将棋棋士が好きです。最近は個性の強い一部棋士がニコニコ動画やバラエティ番組などで露出も増えていますが、「にっちな業界の変なひと」扱いされていることに悲しみをもっていました。その点、今春ミヤマ社から発行された「透明の棋士」は、彼ら、敬虔さと闘志をあわせもつ勝負師たちの生き様への、心からの敬意を感じさせる本で、何より読後、さらに棋士のことが好きになりました。●その本に出てくる話ではないですが、棋士は、眼前の勝ちにこだわる「勝負師」、これまでの棋譜の蓄積を知る「研究者」、常識外の新たな手を生み出す「芸術家」の、三つのバランスが重要とのこと。これを見習う世界に当てはめればどうなるでしょうか。少なくとも2つは「実践家」「研究者」ではないか、と思ひ至り、もう1つは何か考えつつ、今号の特集をお届けします。……番匠

◎編集室ツイッター
<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第56巻 第9号 2015年9月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

[JCOPY] <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円 + 税
年間購読 好評受付中!
電子版もお選びいただけます。

Vol.56 No.8

2015 年 8 月
特集

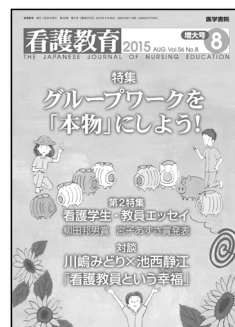
グループワークを「本物」にしよう!

【増大号】1部定価：本体 2,200 円 + 税

一方的に話す形式ばかりで、グループワークを授業に取り入れたことがないという教員は、今ではもうほとんどいないのではないのでしょうか。自身が情報を整理し、発言し、傾聴し、情報共有し、発表するということがトータルで学べるグループワークは、看護教育に限らず、さまざまな場で活用されています。が、思い出してください。あなたがやっているグループワーク法は、どこで学んだものですか? グループづくりから全体のコーディネート、フリーライダーを生まないケア、ワークが流れないときの対応、それらをひとりと通る経験のある方は、案外少ないように思います。単に自分が学生時代にしてきたことの延長で行っている、という場合もあるかもしれません。しかし、それではせっかくの手法も十分効果を上げることができないでしょう。

今回の特集では、ただ、「グループで話し合わせる」だけのグループワークの問題点を明らかにしたうえで、いかにすれば、「本物」のグループワークとなり、学びとして効果を上げられるかを示します。そもそも、議論自体も高校までの基礎教育で明確に学んできていないことから考えると、実はグループワークは学生たちにとって負担になっているかもしれません。まず話し合いを「本物」にしてから、グループワーク「本物」にしていくべきです。

- グループワークはグループづくりから始まる……………三浦真琴
- 「グループでワークすればグループワーク」ではない! グループワークもどきからの脱却……………近藤麻理
- 参画型看護教育におけるグループワークの展開 レポート作成論の授業の組み立て……………波弘幸/大城凌子/金城祥教
- 学生がやる気になるグループワークを求めて……………糸賀暢子
- 協同学習を取り入れて変わったグループ活動の方法と効果……………宇治田さおり



【第2特集】看護学生・教員エッセイ 入選エッセイの発表

- 学生部門 【講評】患者の可能性を引き出すには…柳田邦男
【柳田邦男賞】患者の心に寄り添うこと…内中貴子/【柳田邦男賞】A氏から教わったこと…西村ちあき
- 教員部門 【講評】語られることで関係は変化し続ける…宮子あずさ
【宮子あずさ賞】説明がつかない不思議な体験…中村貴子

Vol.56 No.7

2015 年 7 月
特集

看護過程再考

1980年代以降、日本でも多くの看護理論家、臨床家が、看護を科学的に基礎づけるものとして、「看護過程」の考え方を発展、普及させてきました。実際、「看護過程」が看護実践の向上に果たしてきた役割は非常に大きいといえるでしょう。

同時に、看護基礎教育においても、多くの看護師養成校でカリキュラムに「看護過程」が設けられ、演習、実習も、看護過程をベースに実施され、大きな労力、時間が割かれている現状があります。

このような状況を受け、「看護過程」という思考の方法の教育が、看護教育の目的となってしまうという声も多く聞かれます。これは、「看護過程」を基礎教育に用いることのメリット/デメリットが十分に議論されないまま、形式的に導入されてしまった側面があるといえるのではないのでしょうか。今特集では、「看護過程」が基礎教育で重要視されてきた背景と問題点をもう一度整理し、基礎教育での「看護過程」の役割を再考するとともに、近年米国で「看護過程」に代わるものとして活用され始めた臨床判断モデルを紹介したいと思います。

- 「看護過程」を教える意義と現状の課題—「思考ツール」として観察の視点を養う……………古橋洋子
- 今にして看護過程を見定める……………小玉香津子
- 「看護実践を学ぶ」ということ—実習における学生の経験を通して……………前川幸子
- 看護過程と「臨床判断モデル」……………松谷美和子/三浦友理子/奥裕美
- 臨床判断モデルを用いた教育実践について……………喜吉テオ紘子



【2015年6月号(Vol.56 No.6)】

「つまらない」授業よ、さらば!

【2015年3月号(Vol.56 No.3)】

コースポートフォリオで授業改善!

【2015年5月号(Vol.56 No.5)】

「やってくる」事前課題をつくらう!

【2015年2月号(Vol.56 No.2)】

IPEの達成とこれから「地域で学ぶ」を中心に

【2015年4月号(Vol.56 No.4)】

本当に伸ばすためのコミュニケーション教育

【2015年1月号(Vol.56 No.1)】

看護教員の教育力をUPする!

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013年 7月号(Vol. 54, No. 7)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, http://www.taobook.com/)よりご注文いただけます。
- 2013年 8月号(Vol. 54, No. 8)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。